

2013年9月9日から2023年9月8日に
当院でIVRを受けられた患者さんへ

* IVRとはインターベンショナル・ラジオロジー (Interventional Radiology) の略です。エックス線透視や超音波像、CTを見ながら体内に細い管(カテーテルや針)を入れて病気を治す新しい治療法です。具体的には、肝細胞癌に対する肝動脈塞栓術、中心静脈ポート留置術、血管奇形に対する動脈塞栓術や硬化療法、動脈性出血や動脈瘤に対する動脈塞栓術、膿瘍ドレナージ、CTガイド下肺生検などの手技がIVRとなります。

全国IVR症例登録事業参加について

本研究は川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得ています。

当院では、患者さんに安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに、患者さんの個人情報の取り扱いにも万全の体制で取り組んでいます。

日本IVR学会(事務局:〒355-0063埼玉県東松山市元宿1丁目9番4号FAX:0493-35-4236)では本学会に参加する施設で行ったIVR診療の情報を登録し、IVR診療の状況を把握し、各種疾患の診断治療の向上に役立つ取り組みをIVR学会症例登録として実施しております。この事業は、現在の我が国のIVR診療の現状を浮き彫りにし、基礎と臨床の種々の研究にも貢献するものと考えられます。研究期間は2013年9月9日から2023年9月8日までです。

当院は、上記の日本IVR学会による全国症例登録の趣旨に賛同し、登録事業に積極的に協力してまいります。当院で2013年9月9日から2023年9月8日にIVR診療を行いました患者さんについては、個人情報を削除した後、診療内容(年齢、性別、術式、術者、手技時間や腫瘍個数、血液検査データなど)をIVR学会事務局に届出致します。但し、非同意の意思表示がなされた場合には届出を致しません。また、後に非同意や登録の削除を申し出られました場合にも登録を削除致します。情報のみを用いた研究であるため、新たな負担、リスクはありません。また、経済的負担、謝礼はございません。

研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。この研究の主施設である一般社団法人日本インターベンショナルラジオロジー学会では、IVR学会会員より徴取した会費のみを原資として使用しますが、当院にはIVR学会会員より徴取した会費は配分されません。当院では研究資金は不要です。利益相反委員会にこの内容を申請し、適正に管理されています。

本研究への協力を望まれない患者さんは、研究対象といたしませんのでその旨を下記問い合わせ先までお申し出下さいますようお願いいたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご希望があれば他の研究対象者の個人情報の保護に支障がない範囲内で研究計画書などを閲覧することができますので、お申し出ください。また、ご不明な点などありましたら、下記問い合わせ先までお気軽にお尋ね下さい。

<問い合わせ先>

川崎医科大学総合医療センター

放射線科 芝本 健太郎

電話 086-225-2111 (内線 82530)